

第 20 回 地域活性ラボ 研究会

「農」の非経済的な価値による地域活性化の方法論

共催：農都共生ラボ、第 8 回地域活性学会 地域活性化メソドロジー研究部会

後援：ポタジェ～食べる通信 from 埼玉～

助成：トヨタ財団研究助成プログラム

日時 2017 年 3 月 9 日（木）19:00-21:00

**場所 慶應義塾大学 協生館 3 階「C3N14 教室」
（神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1）**



開催概要

農業の振興が地域活性化に寄与すると言われて久しいが、それは単に農家の所得向上や関連産業の発展を指しているわけではない。農家の存在意義は食料の供給に終始しているのではない。農業にある農や食には非経済的な価値が内在していると考えられ、古来より人は無意識のうちにその価値の恩恵にあずかっていたといえる。市場が飽和して右肩上がりの経済成長が見込めない今後の社会において、持続可能な地域社会を実現する非経済的な豊かさの手掛かりを見出す。

研究報告・講演プログラム

- 19:00—19:05 開会挨拶（前野隆司 慶應義塾大学大学院 SDM 研究科委員長、教授）
- 19:05—19:15 農業・農村の多面的機能
（林美香子 慶應義塾大学大学院 SDM 研究科特任教授）
- 19:15—19:45 研究報告「食」と「農」の豊かさがもたらす地域コミュニティへの新たな価値
—CSA(Community Supported Agriculture)の活動による分析—
（村瀬博昭 新潟薬科大学応用生命科学部准教授）
- 19:45—20:10 実践報告（講演）有機農業が創出する食と農の非経済的な価値
（尾崎零 農を変えたい！全国運動関西地域ネットワーク 代表）
- 20:10—20:55 ディスカッション
「農」により創出される非経済的な価値による地域活性化の方法論
- 20:55—21:00 総括、閉会挨拶（中嶋聞多 一般財団法人地域活性機構理事長）



申込 大学ホームページ <http://www.sdm.keio.ac.jp/>

または下記ウェブサイトからお申込ください。（先着 40 名、無料）

<https://wwwdc01.adst.keio.ac.jp/kj/sdm/lec20170309.html>